カエルの詩（うた）　　　　　　　　　　　加羅戸麻矢

ぼくはガマガエル、昔はオタマジャクシだったんやけど

今は土いろ斑点のついた茶色つなぎ着て大きくなったでゲロ

きのうは気に入らないガマ野郎を友だちの蟷螂の斧でひとっ裂き

はらわたをホルモン料理屋に仕出し脳みそを味噌漬け屋に売りさばき

小金を稼いだでゲロ

小銭持ち歩くのは難儀だから、ガマ野郎の体を天日干しにし

懇意のアザミの花姉ちゃんに刺繍を頼んだでゲロ

出来上がったのはデイバック風のがま口や

そんで「がま口背負ったガマガエル」と唐様のタスキをかけ幟（のぼり）を立てて

街を歩けば人間様がお布施をくれたでゲロ

たいそう金が溜まったので、一杯飲み屋で焼き鳥つまみに熱燗グビグビ

千鳥足で秘密の寝床の下水道に帰ったらびっくりでゲロ

僕と同じつなぎを着た人間様が何人も寝てるやないか

つなぎがドブ色で黒墨斑点付きだからきっとハイソな人達でゲロ

おっと、腹二十分目なもんで気持ち悪くなってきたでゲロ

下水に向かってゲロゲロゲロゲロ・ゲロ…

腹八分目でスッキリしたんで

折り畳んで断熱クッションにした札入りのデイバッグをベッド代わりに

ぬめった白いベタベタ太鼓腹を上に向かせ

おやすみでゲロ

＊

＊